



# 成田市のごみの状況について

## ○成田富里いずみ清掃工場の現状

成田富里いずみ清掃工場では、成田市と富里市から排出される可燃ごみを、高温で溶かして処理しています。

令和6年度のごみ搬入量は5万3千トン以上でした。減少傾向にはあるものの依然として建設時の計画量を上回っています。

成田市ではごみの減量化を推進すべく、適正な分別に取り組んでいます。

## ○全国・千葉県との比較

令和6年度に成田市内から出たごみの総量を市民1人1日あたりに換算すると約973gでした。

令和2年度からの推移をみると、ゆるやかな減少傾向にありますが、全国や千葉県全体の平均値と比較すると、成田市は依然として高い値となっています。

成田市の1日1人あたりのごみの量は千葉県全体（R5）と比べておにぎり約1個分多くなっています（約120g）



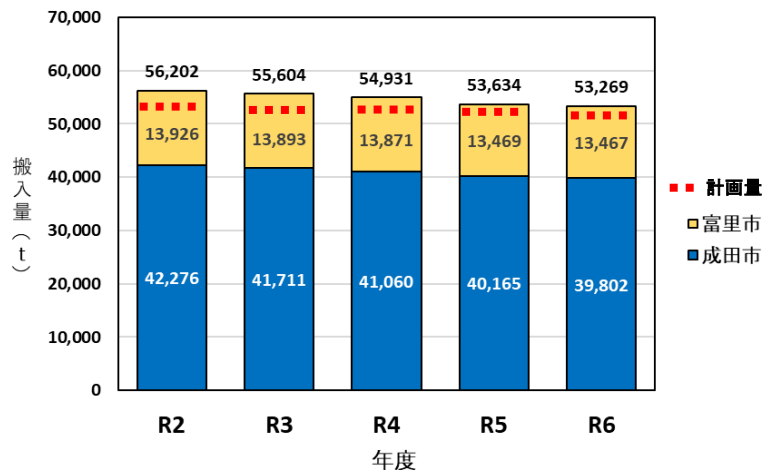
## ○可燃ごみの内訳

右の円グラフは、成田富里いずみ清掃工場に搬入された可燃ごみの内訳です。（事業系ごみ含む）

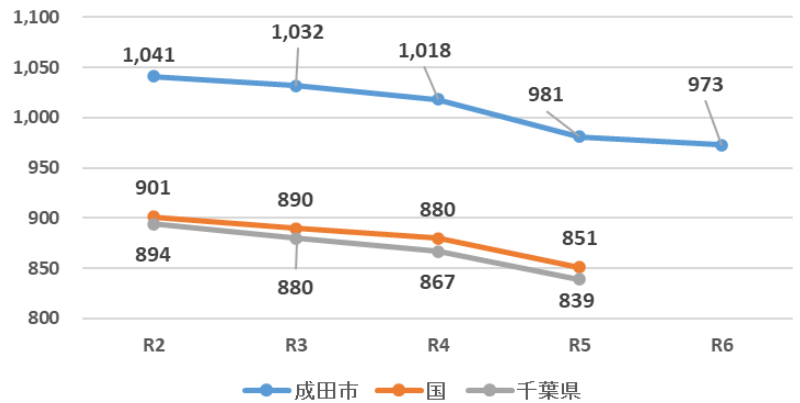
全体の約半分を占める紙類・布類の中には、リサイクルできる古紙や古着が多く含まれています。

また、3割程度を占めるビニール類にも、リサイクルできるプラスチック製容器包装が含まれています。つまり、多くの資源物がリサイクルされずにごみとして処理されてしまっているため、適正な分別を徹底すれば、可燃ごみの量を大きく減らすことができます。ごみの減量化・資源化促進のため、市民の皆様1人ひとりが成田市の分別ルールを守っていただくことが大切となりますので、今後ともご協力をお願いします。

【成田富里いずみ清掃工場への搬入量（年度別）】



【1人が1日に出すごみ量の比較】 (g/人・日)



※R6年度の国および千葉県のデータは、現時点（R7.7.1）で未発表のため、掲載しておりません。

令和6年度 可燃ごみ内訳

